

## 市民懇談会

### 1 日 時

令和7年10月20日（月）14時～17時

### 2 場 所

岩沼西コミュニティセンター

### 3 出席者

#### (1) 特別職

佐藤市長

#### (2) 部長

大友総務部長、新妻政策部長 菅原健康福祉部長、古積市民経済部長、  
佐藤建設部長（併上下水道部長）、遠藤教育部長

#### (3) 事務局

司会 安齋市長公室長

市長公室職員

### 4 参加人数 54名

### 5 懇 談

懇談の主な内容は、裏面のとおり

**【意見1】子育て支援をすることによって人口を増やすというのが市長の考えだが、高齢者が少し置き去りにされているのではないか。**

【回答1：市長】決して置き去りにはしていません。高齢者関係の予算は増えていますし、削ってもいません。子育て支援を手厚くするという部分についても、部内でやりくりをしており、子どもへの予算がどんどん増えている訳ではありません。これからも高齢者の皆さんサービスを維持していくために、若い方々を増やさなければいけないということを今回説明させていただきました。そこに向けて頑張っていきます。

**【意見2】総合南東北病院が市民会館の駐車場を40年間無料で使用できたのに、なぜ有料になったのか。また、総合南東北病院はどのくらいの額を負担しているのか。**

【回答2：市長】総合南東北病院が市民会館の駐車場を無料で使用できるというような文書は一切残っていません。行政の立場でこのまま無料にし続けるというのは公平公正ではありませんので、病院ともしっかりと話をさせていただいた上で、今回の見直しを行いました。

【政策部長】病院がどのくらいの額を負担しているのかについては、総合南東北病院と駐車場運営事業者の直接契約であるため、把握していません。

**【意見3】市民会館駐車場の有料化について、約6,000万円の売り上げがあって、1年目は諸経費として4,000万円が掛かったとしても、2年目以降はそんなに掛からない。こんなに儲かるのはおかしいので、駐車料金をもっと安くする必要があると思うがどうか。**

【回答3：市長】貸付料は、最終的には市民の皆さんのお金になり、何かしら他の事業に使うことができますので、市民の財産を有効に活用できるという判断で今回有料化しました。料金設定については、少し安くても良いのかなという思いはあります、既に結んでいる契約がありますので、そこはご意見としてしっかりと受け止めさせていただきます。

**【意見4】市民会館駐車場の無料分の適用時間を、3時間から5時間にしてもらいたい。5時間であれば、大抵の行事で何とかクリアできるのではないか。**

【回答4：市長】長時間無料にした方が、使用する方にとって良いというのはその通りだと思いますが、使わない方にとってどうなのかということも含めて、調整しなければいけません。5時間無料してしまうと、ほとんどの人が無料になってしまい、事業者は誰も手を挙げません。その辺りはしっかりと検討させていただき、どの選択肢が全市民にとってベストなのか考えたいと思います。

【政策部長】事業者と5年間で契約をしている中で、現在2年目ですので、料金を少し安くする、あるいは無料時間を3時間から4～5時間に延長できるかという話については、事業者と協議をしなければいけませんので、出来るかどうかをこの場で申し上げることは出来ません。

**【意見5】**市には、どんどん良い条件を出してもらって大きな遊園地やスーパーを誘致して欲しい。岩沼は名取と比べたら寂しいので、もっと盛り上げて欲しいと思う。

**【回答5：市長】**大きな施設を誘致して欲しいということについては、その通りだと思います。私も職員も一生懸命誘致活動に取り組んでいますが、民間はシビアでしっかりと調査します。例えば土地を無料にするなど優遇措置を講じたとしても、岩沼に行っても儲からない、潰れてしまうと言われるとなかなか誘致も難しい状況です。今後も魅力のあるまちになるよう頑張っていきます。

**【意見6】**全国で話題になっている熊の問題について。グリーンピアの入口で、子熊が見つかったとの噂を聞いている。街の中でも駆除することができるというような話もあるが、市では何か対策を考えているのか。

**【回答6：市民経済部長】**熊の対策については、猟友会と一緒に、有害鳥獣の対策を行っております。熊の目撃情報があった場合は、職員と猟友会とで現地をパトロールし、危険性があるかどうかを確認します。もし熊が見つかり、実際に人や市街地に被害が及ぶという判断があった場合には、県の指導を受けながら、銃で捕らえるということも可能になっており、県や警察など関係機関と連携しながら情報共有をしています。

**【意見7】**県は水道事業の民営化を目指しているが、市でも阿武隈川から引くのをやめて、少し値段が上がっても良いので、水質の良い七ヶ宿などの水を引いて、提供するような形にして欲しい。今の一般的な水道料金というのは、仙台市が約3,500円で、仙北では5,000円になっている所もあると聞くが、市はどのくらいの金額でやっているのか。また、水質検査は、民間委託なのか市が直接調査しているのか。

**【回答7：上下水道部長】**水道は、玉崎浄水場で阿武隈川から取水して調整をしており、七ヶ宿ダムを水源とする県の仙南・仙塩広域水道の水と阿武隈川の水を大体半分ずつブレンドして皆さんの所にお届けしています。玉崎浄水場では、51の検査項目があり、それを全てクリアした上で水を作っています。最近騒がれているPFASについても、検査は義務化されていませんが市では検査をしており、基準値を完全にクリアしている状況です。また、仙南・仙塩広域水道の水だけにしたら良いのではないかという点については、2系統あると災害があった時に対応が可能になるという利点があります。例えば仙南・仙塩広域水道の方が断水してしまった時でも、市の全戸に水を供給する機能を玉崎浄水場は持っています。そのような時も断水せずに、皆さんへ安心して水を送れますので、今の状況では仙南・仙塩広域水道の水と阿武隈川の水の2本で供給したいと考えています。

料金については、県内市町村の中ではかなり低い方なのですが、単価までは今持ち合わせていなかったので、後ほど調べてお知らせしたいと思います。

水質検査は、岩沼市外一市四町水道水質検査協議会で実施しています。そこでできないものは民間に頼んでいます。玉崎浄水場の中に検査室があり、ほとんどそこで行われています。

**【意見8】市民体育センターの跡地利活用について、例えば、子どもと高齢者が共用で使える場所や高齢者へのイベントなどが恒常にできる場所があれば良いと思うが。**

**【回答8：市長】**市民体育センターの跡地については、プロポーザルという公募方法を採用しています。市としてこのようにしてほしいという部分は評価項目に盛り込んでいますが、色々と細かい条件を付けてしまうと、良い事業者に来てもらえない。市民のためになり、喜んでいただけるような商業施設に来ていただけるよう、事業者を公募で選ばせていただきました。

**【意見9】**市で作成した洪水ハザードマップで確認すると、西コミュニティセンターは、1～3mの浸水で、1階の部分が少し浸水する予想となっている。医療救護所としても指定されているので、万が一駐車場にあるキュービクル式高圧受変電設備が浸水して使えなくなってしまうと、せっかく避難したもののが電気が使えない状況になる。そうならないために設備の周りをブロック塀などで囲って、水が直接かかるないように、浸水に耐えられるような準備をしておいた方が良いのではないか。そもそも市でそのような計画があるのか、確認したい。

**【回答9：総務部長】**洪水ハザードマップは、極めてひどい雨が降り続いた場合など、阿武隈川の堤防が決壊したような状況を予想して作っています。現時点では、西コミュニティセンターの受変電設備に対し、しっかりと止水版等を設置する予定はありませんでした。必要な時には、担当と協議をさせていただきたいと思います。

**【意見10】子育て支援について、ハナトピア岩沼のリニューアル後の施設（miiina）の利用率の見込みはどうなっているのか。非常に疑問だ。**

**【回答10：市長】**利用見込みは、民間企業が出している堅実な数字がありますが、あくまでも目標なので、人生も目標どおりにはいかないと思います。ただ、市としては、やはり想定を高く掲げて、そこに持つていこうと、職員一丸で、あるいは市民の皆さんも含めて頑張ってもらうので、ご理解いただきたいと思います。

**【意見11】教育政策について、学力向上を発表できるのであればしてほしい。県内で上位にするという公約があったと思うが、上位というと、上位3分の1には入らなければいけないが、データ上では入っていない。**

**【回答11：教育部長】**例年4月に学力学習状況調査を行っていますが、結果についてはホームページに掲載しています。岩沼市が何番目だったというような所までは掲載していませんが、全国や仙台市、宮城県全体との比較で見ると、中学生は頑張りました。ただ、細かい数字は持ち合わせていません。学校、児童生徒本人、家庭が一緒になって一生懸命頑張っていきますので、そこはぜひ見守っていただければと思います。

**【意見 1 2】**附属機関の委員については、色々な協議会に市民の代表がいるが、広報には募集の記事はない。例えば、障害者施設の委員や、学校給食の委員について、経験者や有識者の方も多くいると思うが、市民の声を反映させるために、公募をしてその中で選ばれた市民の代表も必要ではないか。

**【回答 1 2：政策部長】**委員については、かなりの割合で広報に掲載しており、審議会の委員の中でも例えば 10 人のうち、2 名は市民の枠を設けるなどしています。社会教育委員については把握していませんが、他の委員会や審議会、検討委員会については、それなりの市民の枠を設けてい るという認識でいます。

**【意見 1 3】**市民体育センター跡地の利活用について、市民アンケートや懇談会等をいろいろとやっていますが、3 事業者が手を挙げてそこから 1 者選んだという流れかと思う。アンケート結果や議事録を見て見たところ、避難所にして欲しいとか、子どもの遊び場を作つて欲しいとか、高齢者が集う場所にして欲しいとか、そのような声がたくさんあったが、それらの声は反映された上で決まったのか。

**【回答 1 3：政策部長】**市民体育センター跡地の利活用について、確かに集会施設にして欲しいという声もありましたが、アンケートを見ていただけると分かるように、一番多かった要望は飲食店で、その次に多かったのがスポーツ施設でした。その中で、土地を利活用していただくにあたり、色々と細かい条件を付けてしまうと提案もなかなかしづらいだろうということで、事業者の方にはアンケートの内容をご覧いただいた上で、提案をしてくださいという仕様としていました。その結果として、飲食店と小売店を計画する事業者を選定しました。

**【意見 1 4】**高齢者にとって公共施設の使いやすさは重要で、特に土足で入れるかが大きなポイントになる。岩沼西コミュニティセンターなど、土足で利用できる施設は高齢者に好まれている一方、勤労者活動センターや玉浦コミュニティセンターのように上履きへの履き替えが必要な施設では、靴の脱ぎ履きが困難なため利用を控える声もある。土足禁止の施設も土足可能にするよう検討してほしい。

**【回答 1 4：市長】**施設を建てた時代、大きさ、規模感によると思いますが、日本では家に帰ると、靴を脱いで上がるということが主流なので、そういった事情も踏まえた建物作りになっていると思います。また、施設内に体育館があることも理由のひとつで、その場合、最終的には靴を脱がなければいけないので、できるかできないかを含めて検討します。

**【意見 1 5】**職員が今取り組んでいる仕事の中で、職員負担が掛かっているものや、無駄なもの、余計な仕事もあると思うが、民主党政権時代に国が実施した事業仕分けのようなものを実施してはどうか。職員は、自分がやっている仕事については、無駄なことは一切やっていないと言うものだが、外から見ると、これは無駄なのではないかということがあると思う。

**【回答 1 5：市長】**今の市役所は、それを実施するくらいの規模ではないと思っています。無駄の削減については、幹部から職員に伝えてもらいます。

**【意見 16】**行革改革の実施について、19 億 8,000 万円の削減はあるが、本当にこの額を削減できるのか。削減については良いが、収入について、大まかでも良いので具体的な金額を教えてほしい。また、何年間で 19.8 億円を削減するのか。

**【回答 16：市長】**現在の制度では、収入を大きく伸ばすことは難しく、工業用地の売却やふるさと納税の増加、人口増加などに取り組む必要があります。そのため、支出の削減が重要であり、令和 15 年度までの 10 年間で 19.8 億円の削減を目指しています。この削減は職員の自主的な工夫によるもので、教科書指導書のデジタル化や公共施設の統廃合、公用車の見直しなど、丁寧に時間をかけて取り組んでいます。

**【意見 17】**タブレット学習が主流になり、読書や音読の時間が減っていることに懸念を抱いている。学習の進み具合にも影響が出ていると感じており、市内の学校での取り組みに統一性がないため、教育委員会による教員への指導を求める。

**【回答 17：市長】**デジタル化は、教職員が楽をするためではなく、子どもたちにとって何が一番良いかが大切で、そのための教育をしっかりとしていくなければなりません。読書や紙の教材の良さも見直されている中で、教員には少し手間がかかっても、前向きにしっかりと取り組んでもらいたいと思います。教育委員会と意見を交わしながら、より良い教育環境を作りたいと考えています。全国学力学習状況調査についても、私が指示を出して教育長に結果を公表していました。保護者としての立場からも、自由と指導のバランスを大切にしてほしいと願っています。

**【意見 18】**地域でサロンを開催しているので、市長にも是非来ていただきたい。

**【回答 18：市長】**サロンには、いつでも呼んでください。意見交換しながら、楽しく過ごさせていただきたいなと思います。

**【意見 19】**市民バスと AI 乗合バスのルートが一筆書きのようになっていて、往復でルートが異なるため不便を感じている。特に西部から中央への直通ルートがなく、移動に時間がかかるため、ルートの見直しと改善をお願いしたい

**【回答 19：市長】**バスは福祉の一環として重要だと考えており、廃止するつもりはありませんが、時代の変化に合わせて運行の方法は見直していく必要があると感じています。ルート変更を市民のご意見を大切にしながら行ったとしても、必ず賛否があり、調整が難しい面もあります。前回の改定では市民の方も入っている委員会の意見も反映しルートや乗降場所など時刻表が出来上がっていました。今後もより多くの声を反映できるよう努め、限られた予算の中で、より賢く運営していきたいと思っています。またご意見をいただければと思います。

**【意見20】空き家・空き店舗の対策について、新しい宅地を開発するのは時間が掛かると思うので、今あるものの利活用を市としてどう考えているのか教えていただきたい。**

**【回答20：市長】**空き家や空き店舗の活用には積極的に取り組みたいと考えていますが、所有者の意向もあるため、すぐに進めるのが難しい場合もあります。そうした状況への理解をお願いしつつ、今後も市内の空き物件の解消に向けて取り組んでいきたいです。

**【意見21】歩車分離式の交差点について、歩行者の青信号の時間が短すぎて、子どもやお年寄りの方が1回で渡り切れないということがあるとう。スクランブル化や、青信号の時間を長くするなどの対策をお願いしたい。**

**【回答21：市長】**歩行者信号の時間が短いという声を受け、警察にも改善を働きかけていますが、安全面などの理由から調整が難しい状況です。スクランブル交差点の件も含め、引き続き関係機関と協議を重ね、市民の皆さん的安全と利便性の向上に努めていきたいです。他の自治体とも連携しながら、前向きに改善を目指して対応していきたいと思っています。

**【意見22】行政改革による経費削減にあたって、サービスの質が下がらないよう配慮してほしい。会計年度任用職員に係る業務の集約・一元化について、職員の数が少ないことは、無駄がなくて良いという面もあるが、特に職員数の削減は、震災時の避難所対応の経験から、人手不足が市民の安全や安心に影響することを懸念している。緊急時には職員がリーダーとして動ける体制を確保してほしい。**

**【回答22：市長】**行政改革をする中で、サービスの低下は避けたいという思いは同じです。サービスの質を落とさないよう最大限努力し、デジタル化や新しい技術の活用を通じて対応していきたいと考えています。会計年度任用職員の見直しについては、一律の削減ではなく、業務の効率化や適正な人員配置を目指しています。災害時には外部との連携を強化し、職員も全力で対応しますが、市民の協力も不可欠であり、自助・共助・公助のバランスを大切にしたいという思いがあります。ぜひ皆さんからのご協力を願いしたいと思っています。

**【意見23】西部地区老人憩いの家が老朽化によって取り壊されると聞いたが、まだ早いのでは感じている。これまで無料で集会に利用できていたことがありがたく、今後他の施設が有料化されることに対して、利用者として不安や不便さを感じている。**

**【回答23：市長】**西部地区老人憩いの家の取り壊しについては、老朽化だけが理由ではありません。市民の皆さんに不安や不便が生じないよう、できる限り配慮しながら対応していきたいと考えています。

**【健康福祉部長】**西部地区在宅福祉センターにあるデイサービスたけくまは、介護保険制度の開始当初に市が整備した施設ですが、現在は民間のデイサービスが充実しており、市が運営する必要性が薄ってきたと判断しました。老朽化に伴う改修費も大きく、代わりに利用できる施設も整っていることから、廃止を決定しました。ご不便をおかけする点もありますが、丁寧に説明しながらご理解をお願いしたいと考えています。

**【意見24】**市のバスを日常的に利用している立場から、利用者が少ない大型バスの運行に疑問を感じており、税金の使い方としても気になっている。今後の見直しにあたっては、AIバスやデマンドタクシーの運行エリアを広げるなど、より有効に活用できる方法を検討してほしいと考えている。

**【回答24：市長】**バスは福祉の役割も担っているため、一律に廃止することは考えていませんが、限られた予算や人口規模の中で、効率的な運行を目指す必要があると感じています。路線の見直しには市民や関係団体の意見を踏まえた慎重な検討が必要であり、大幅な変更は難しいものの、小規模な改善には前向きに取り組みたいと思っています。市民バスの使用する車両、AI乗合バスとデマンドタクシーの使い分けも含め、地域の実情に合わせた運行を進めていく方針で、市民の理解と協力を得ながら、より良い交通環境づくりを目指します。

**【意見25】**岩沼市は通勤・通学の利便性が高いとされているが、岩沼駅周辺には気軽に利用できる施設が少ないと感じている。名取駅前のように、子どもの預かり所や集会室、ショッピング施設などが駅近くに整備されれば、もっと便利で魅力的になるのではないかと考えている。

**【回答25：市長】**岩沼駅前の整備については強い思いを持っており、なるべく民間の力も借りて取り組みたいです。他の事業との優先順位もあるため、工夫しながら段階的に進めていきたいと思っており、市民の期待に応えられるよう努力していきたいです。

**【意見26】**小中学校の給食をぜひとも無償にしてほしいということで、2023年から署名を集めて、昨年までで1,572通を届けた。憲法26条で義務教育は無償となっているが、実際には教材費や制服代などが掛かるので、親にとっては大きな負担です。学校給食法でも、給食は教育の一環であると書かれている。また、周辺自治体で給食費無償化が進んでいることを踏まえ、岩沼市でも子育て支援や教育の一環として、給食費の無償化に取り組んでほしいと考えている。

**【回答26：市長】**小・中学校の給食費無償化については、国が憲法上の義務教育として対応すべきであると考えています。現在でも食材費以外の人件費や施設維持費などは市が負担しており、経済的に困っている家庭には既に支援が行われています。食材費の負担は支払いができる家庭にお願いしたいという考え方であり、無償化を進めるには国の制度設計と財源確保が不可欠だと捉えています。

**【意見27】**竹駒神社には多くの観光客が訪れているが、市内でお金を消費できる場所が少なく、経済的な恩恵が市に還元されていないと感じている。食事や買い物ができる道の駅のような施設があれば、観光客の滞在時間も延び、市の収益にもつながるため、ぜひ整備を検討してほしい。

**【回答27：市長】**岩沼市に訪れる観光客が食事や買い物を楽しめる場所が少ないと岩沼の神社に来たとしても大人数で食べる場所がないということが課題だと思っていました。現在計画中の空の駅にも、観光客が立ち寄りやすい飲食店などを誘致できるよう、担当部署と調整を進めています。

**【意見28】** 岩沼駅西口の駐輪場が自転車の増加と多様化により乱雑な状態になっており、利用者や管理する高齢の方々に負担がかかっていることを心配している。他市のように幅や線を整えた使いやすい駐輪場の整備を進めてほしい。自転車も市民の大切な財産であり、雨風に強く、安全に使える施設を整えてほしいと考えている。

**【回答28：市長】** 駅前の駐輪場については、施設の整備だけではなく、まずは利用者のマナー向上が重要だと考えており、4月の年度初めにはマナーアップの意識づけに力を入れたいと思います。シルバー人材センターへの委託だけで解決する問題ではないため、土地の活用も含めて、今後しっかりと検討・対応させていただきます。

**【建設部長】** 今の自転車の量からすると、きちんと停めてもらえば停まりますが、急いでいる方は、空いているところにさっと停めてしまうようなので、施設の運用方法を検討していきたいと思っています。色々と意見をいただければと思いますので、よろしくお願ひいたします。